

報道関係者各位  
プレスリリース

2022年12月15日  
休暇村奥武蔵

**美食の大地 北海道のグルメを飯能で堪能  
休暇村奥武蔵「北海道フェア」を2023年1月13日（土）から開催  
昨年好評につき、バージョンアップして今年度も開催します**

埼玉県飯能市に位置するリゾートホテル「休暇村奥武蔵」（所在地：埼玉県飯能市吾野72、総支配人：荒井泰博）では、百貨店が開催する「北海道展」のワクワク感を休暇村奥武蔵でも味わっていただくこと、美食の大地、北海道のグルメを集めた「ステージキッチンビュッフェ 北海道フェア」を2023年1月13日(金)より3月17日（金）までの期間限定で開催します。苫小牧漁港に水揚げされた魚介類や北海道産牛のカットステーキ、花畑牧場のラクレット、十勝しんむら牧場の「放牧牛乳」など、北海道の食材を使った料理を存分にお楽しみください。



期間限定のスペシャルビュッフェ「北海道フェア」

**◆北海道ならではの料理を取り入れたグルメビュッフェ**



メインのステージキッチンでは、「北海道産帆立のバター醤油焼き」や、「北海道産イカなどの握り寿司3種」の出来立てをご用意。

加えて、「北海道産牛のカットステーキ」、花畑牧場のラクレットを使った「チーズパスタ」、アスパラの天ぷらなども並びます。

また、イクラや北寄貝など北海道ならではの食材をぎゅっと詰め込んだ「北海アミューズ丼」も登場します。



土づくりを最も大切に考え、放牧酪農で飼育する「十勝しんむら牧場」。牧場直送の「放牧牛乳」や放牧牛乳で作った「ミルクジャム」など、牛乳本来の風味をお楽しみください。



キッズ&デザートコーナーでは、お子様から大人まで、見ても食べても楽しめるかわいい動物園をイメージした料理を並べました。



お部屋のお茶請けには、勇払原野で栽培されているハスカップを使用したロールケーキ「よいとまけ」をご用意しました。発売以来70年、世代を超えて愛されている銘菓です。

### ◆大浴場が「登別温泉」に！

北海道といえば「登別温泉」がダントツの人気ですが、より北海道を感じていただくため、大浴場の内湯には登別温泉「滝本第一旅館」の入浴剤を使い、登別温泉気分もお楽しみいただけます。

※当館の大浴場は温泉ではなく、今回使用する入浴剤も温泉の気分を味わっていただくものです。



イメージは登別温泉の夕景

### 《休暇村奥武蔵 ステージキッチンビューフェ北海道フェア宿泊プラン》

期 間：2023年1月13日（金）～3月17日（金）

料 金：平日2名1室利用 お一人様1泊2食付 16,500円（税込）～

### ◆休暇村奥武蔵

埼玉県飯能市西部、高麗川の清流に囲まれ、里山の風景が色濃く残る自然豊かな場所に立つリゾートホテル。2018年には新館「にしかわ館」を増築し、浴室やレストランもリニューアルしてグランドオープンしました。「ムーミンバレーパーク」のオフィシャルホテルとして「ムーミンスペシャルルーム」も販売。夕食後には「月と星のテラス」で開催する「スタービューイング」や、土曜日に開催する「朝ヨガ」などの体験プログラムも人気です。

所在地：〒357-0216 埼玉県飯能市吾野 72

総支配人：荒井 泰博

URL：<https://www.qkamura.or.jp/musashi/>



「木漏れ日の湯」

### ◆新しい旅のスタイル“ゼロ密のリゾート”を目指した取り組み

お客様、従業員、関係者など皆様の安全・安心を第一に、“ゼロ密のリゾート”を目指し日々取り組んでまいります。

休暇村公式サイト内 特集ページ <https://www.qkamura.or.jp/campaign/zero/>

◆自然にときめくリゾート 休暇村

日本の景色を代表する国立公園・国定公園など優れた自然環境の中にあるリゾートホテル。35か所ある休暇村は、「自然にときめくリゾート」のコンセプトのもと、地元の食材を活かした料理や、地域の自然、文化、歴史とのふれあいプログラムなど、その土地ならではの魅力にふれる場を提供し、すべてのお客様に心が自然にときめくひとときをお届けします。



**【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】**

休暇村奥武蔵 担当：今井 範夫 / 森田 真

TEL：042-978-2888 FAX：042-978-2890

MAIL：kouho\_pr@qkamura.or.jp